



### 心を向ける

今年は年明け早々に能登半島の地震や空港事故といった大きな出来事が起こりました。被災した方々は今もまだ大変な日々を過ごしています。悲しみや苦労等大変さは尽きないと思います。1日でも早く平穏が戻ってくることを願うばかりです。被災地の冬の厳しさを思うと、家があるということがどれほどの安心感となるのか。水や食料があること、仕事や学校、保育園に行くこと等。こういった出来事があるたびに、日常を過ごせていることに改めて感謝とその大切さを感じます。

1月の巻頭言で関東大震災から昨年で100年とありました。29年前となる阪神淡路大震災についても過去のお便りで取り上げられており、その中で過去に支えてもらったから、次は支える側として園からボランティアに行ったという話がありました。今回の能登半島の震災でも、阪神淡路大震災や東日本大震災などで支えてもらったからと、ボランティアに駆けつけている方々が多くいるそうです。誰にでも起こりえることで、いつ当事者になるかはわかりません。でも、時がたてば当事者だった人が支える側にもなっていく。だからこそ、日々の支え合いが大切になるのだと思います。

本園事務室前では保護者の方がお子さんへ震災についてお話している声が聞こえてきます。話をし、被災者の方たちへと気持ちを向けていくこと、小さなことですがそれもまた支えることへと繋がるのだと思います。日常を大切に過ごし、周りの方たちへ心に向けていくこと。一つ一つは当たり前となっていることだとは思いますが、心にとめて過ごしていきたいと思いました。 田中沙里

互いに励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和にすごしなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいて下さるであろう。 コリントの信徒への手紙2 13章11節

<2月の予定>

- 7日(水) 避難訓練
- 8日(木) 誕生会
- 22日(木) ホワイトリリー  
(ゆり組)

保育継続確認書の締切は2月15日(木)です。  
よろしくお願いいたします。

<新年度の土曜保育・延長保育について>  
ご希望の方は、事務所に書類を取りに来てください。申請書と一緒に在職証明書を提出していただきます。

つぼみ組【高月齢】  
(0歳児)

大人気 ★ おままごと



今、室内あそびで大人気なのは断トツおままごと！  
昨年末におままごとコーナーをつくったところ、「待ってました」とばかりに毎日大盛況です。チェーン等の食材を食器に入れてもぐもぐ食べるふり…「あ！スプーン忘れてた」と急いで取りに行く姿が可愛いです。お盆の上に、お皿とお椀とスプーンを並べ、ボウルから料理を移して立派な定食もできました。時にはお友だちのお皿



に分けたり食べさせてあげたりする姿もみられます。つぼみ組でのおままごとをスタートに、これからたくさんのごっこあそびを経験してほしいなあ~と思います。

つぼみ組【低月齢】  
(0歳児)

「これがほしい」

「ぼくの!!」「わたしの!!」  
さて宝はどちらの手に…  
と兎、たら~びりびり  
あれ?? 半分こ兎わずニッコリ



糸1枚でもこの  
ようなやりとりあそび  
が広がります。おとなに  
とっては「純」でも子どもたち  
には成長を育む宝の種です

つぼみ新聞  
今月のイチ押し

「いい音」



もも組  
(1歳児)

ニューアイテム発見😊

年明けに、保育室の奥にある仕切りを取り払って広い空間ができました。秋頃から人気のパズルやストロー落としなどができるよう奥にテーブルを増やすと、ゆったりして集中でき、この頃はトングで小さい綿を摘む手先を使うあそびにも夢中です。手前にも床が現れ、電車あそびなどができるように。別の場所では他のオモチャと一緒になってしまうとすぐに線路や電車をつなぐのを諦めていましたが、専用の空間ができると、今迄よりも更に長く、形も考えながら繋いでいます。「これもあったー」「こっちやってみる！」という声が聞こえてくると、子どもの好きなオモチャを見つけるワクワクが伝わってきて、あそべる環境って大事なんだと改めて思いました。

また次なるアイテムを出すのが楽しみです。

さくら組  
(1歳児)

「ピースがカギ」

最近の大ブーム「パズル遊び」を紹介します。室内遊びの時間になると、お気に入りのパズルを出して遊び始める子どもたち。完成すると、「できたー」とピースサインをして喜んだり「みてみて」と保育者にアピールする姿があります。パズル希望者が重ならなければ一人で集中して遊べるのですが・・・人気が集まってしまうと遊びたい気持ちがぶつかります。そんな時は「このパズルで遊びたかったの?」「どうしようか」「順番にする?」などと保育者が間に入って、言葉にならない気持ちを受け止めています。ですが、お友だちが困っている所に行って「ここじゃない?」と声を掛けたり、ピースを手に持ち、そっと手伝ってくれる姿もあります。そんなやり取りを重ねて、日々難しいパズルに挑戦しています。そこでこんな謎かけが浮かびました。パズルと掛けまして、さくら組の子どもたちに似合う素敵な言葉ときます。その心は・・・さくら組にはピース(パズル・Vサイン・平和)が似合います。

たんぽぽ組  
(2歳児)

アスレチックデビュー★

ちびっこ広場や若宮公園にある滑り台であそび始めたことをきっかけに、園庭ピロティのアスレチックでもあそべるようにしてみました！登ると下にいる友だちや遠くにいる保育者に「おーい！」と言いながら楽しそうに登り降りを繰り返しています😊

中には登ると思ったより高く感じたり、下を覗くと隙間から砂場が見えたりして怖がる姿も…。しかし「怖い…」と言っている子どもほどスリルを楽しみたいのか、何回もチャレンジして登っていました。そんな友だちの姿を見て「ここを持つんだよ!」「ここ滑るから気を付けてね」と自然と応援する姿がとっても素敵でした。

2歳おめでとう  
はさみの特訓修行中

パズル、ブロック、型はめ!  
今まで指先を使ったあそびを  
沢山楽しんできた子どもたち♪  
はらぐみで"はさみを体験した  
ことで、目覚めたはさみへの  
興味。はさみを持つ手も安定感  
あり! (保)「大きくはさみを開いて~  
チョコキン♪」(3)「チョコキン♪と  
ただいま絶賛練習中です。

ちゅうりっぷ組  
(3歳児)

### 「芝生フラッグ～芝生公園で真冬の陣の巻～」

走ることが大好きな子どもたち。「ビーチフラッグならぬ、芝生フラッグ」を提案してみました。子どもたちも「やってみたい!」「おもしろそう!」と興味を持ち始め、実際にルールを簡単に説明してやってみることに。腹ばいになって後ろを向き、笛が鳴ると勢い良くスタートダッシュを決めて保育者の元へと走っていきます。旗の替わりに手をタッチしてゴール! 友だちと大喜びしながらみんなで笑い合っている姿が太陽のように眩しく輝いていました。周りで見っていた子どもも集まってきて10～12人ほどの大きな集団になり、みんなで一緒に1つのあそびを共有できる喜びや嬉しさが、子どもたちの表情からも伝わってきました。また競争するというよりも友だちとみんなでできたこと、同じあそびを共有して楽しんだ時間が嬉しかったようです。「みんな、はやかったね!」「いっぱいはしたよ!」などと、清々しい表情を浮かべていました。走ることに全力を注ぐ今の子どもたちとこの瞬間をおもいきり楽しみたいと思います。白熱する今後の展開に、どうぞ期待!

ばら組  
(4歳児)

### 「最後の収穫」

1月上旬に「ピーマンの葉っぱが元気ない」と気付いたAさん。ピーマンには時期があることを伝え、最後の収穫をすることにしました。回数を重ねる度に「〇〇ちゃんも食べられたって」と今まで苦手だった友だちが食べていることを、周りの友だちと一緒に喜ぶ姿もみられるようになりました。そして最後のトッピングの日、カレー・サラダ・スープのうち好きな所に入れました。「カレーにいれた人いる?」や「〇〇ちゃん、おいしいから食べてね」と保育者が聞く隙もないほど、子ども同士で盛り上がっていました。普段は残してしまう子どもも、友だちのパワーでほぼ全員が食べることができました。

### 『グループ名決め』

\* 年末にグループ替えをし、グループ名決め第二弾! を1月の中旬に行いました。2回目ということもあり、すでに自分たちの中で決まっているグループもありました。前回は周りの意見に賛同していただけのBさん。今回は「ピンクがいい」と意見を出すことができていました。Cさんは、みんなの意見がまとまらないのを感じ、「どうぶつはどうか?」「きょうりゅうは?」などと方向を変える提案をし、最後にはみんなが納得する案を出してくれました。グループ名を紙に書く時も全員がそこに携わり一つのものとして仕上げる姿に子どもたちの成長を感じました。

ゆり組  
(5歳児)

### 『トントン当番』

先月から始まったトントン当番。担当のグループは食事中からどことなくソワソワ…いつになくおしゃべりも少な目で黙々と食べています。少しだけ他の友だちよりも早めにごちそうさまをすると、いざ、ちゅうりっぷ組へ。もう寝ている小さいクラスを起こさぬよう忍び足で階段を上ると、テラスにきれいに上履きを並べ、そーっと保育室に入ります。布団の中から送られる『ここにきてー』と訴えるかわいい熱い視線にこたえるべく布団の横に座って、トントン。トントンと一言で言っても、指先でちょんちょんするタイプ、手のひらを使ってスリスリなでなでするタイプ、独特のリズムを刻むタイプなど個性あふれるゆり組さん。もう寝たかなあと覗き込み、寝顔を確認すると、何とも言えない得意気な表情を見せてくれます。

1週間終わると次のグループへバトンタッチ。帰りの会では、「あんまり強くたたくと痛いからダメだよ」「グループの友だちと目が合ってもおしゃべりしないよ」「ひとり寝たら次の子を寝かすよ」「行きも帰りも走らないよ」などと、アドバイスをする頼もしい姿がありました。誰かから頼られたり、慕われたり、感謝されたりという経験が、またひとつ大きな自信となっているようです。ゆり組さん、かっこいいよ!

## ほけん

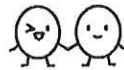
### 鼻水、たらしていませんか？

子どもは鼻水を垂らしやすいですが、いつも垂らしている、なかなか治らないお子さんはいないでしょうか。熱はないし元気だから、子どもは鼻水が出ているのが普通だから、といってそのままにしていると知らない間に治らない難聴になってしまうことがあります。

子どもの耳は構造上、菌が入りやすく炎症をおこしやすいためずっと鼻水が出ているのは良い状態ではありません。耳鼻科で診てもらうことをお勧めします。また鼻水をすすり上げるのは鼓膜に大きな負担をかけるので、優しく鼻をかむ習慣をつけてあげてください。

## おしよくじ

### ●○○●豆のパワーで丈夫な体をつくろう！



2月3日は節分です。日本では豆まきをする風習がありますね。豆まきに使う大豆には栄養がたくさんあります。たんぱく質が豊富で『畑の肉』とも呼ばれています。食物繊維やカルシウム、鉄、ビタミンBなども多く含まれています。

積極的に取り入れたい食材ではありますが、乳幼児には誤嚥の事故も報告されていますので、そのままの形ではなく、加工品や調味料などで上手に取り入れましょう！特に豆まきに使用する炒り豆は危険ですので注意が必要です！



◎主な大豆加工品→豆腐・油揚げ・おから・きな粉・豆乳・高野豆腐

◎主な大豆発酵食品・・・醤油・味噌・納豆



最近では大豆ミートや水煮のパックなどに加工されたものも多くみられるようになりました。保育園では高野豆腐をフードカッターで刻んだものをひき肉の代わりに使用した、そぼろ丼が人気のメニューのひとつです。また、水煮の大豆をつぶしたのを混ぜてハンバーグなども提供しています。保存が長くできるものも多いのでストック用の食材としてもおすすめです！

## お知らせ

やまびこの投書は  
ありませんでした

実習生が入ります。

1月29日～2月14日 東京成徳大学2名



降園の際（本園）、スロープであそぶと  
怪我に繋がるがあるので、  
速やかな降園をお願いします。